大学院教育学研究科

所属・職位	大学院教育学研究科（教職大学院）・准教授
氏名	友成　洋（Tomonari Hiroshi）
取得学位	教育学修士，熊本大学，1988 年 3 月
SDGs目標	

研究分野	特別支援教育
研究キーワード	教育課程，人材育成，就学支援，校内支援体制
研究内容	●学習指導要領に基づいた知的障がい特別支援学校の教育課程，指導法 兼務している附属特別支援学校では，全体研究として，学習指導要領で示された資質能力の三つの柱である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」の考え方に基づいた授業実践を進めている。特に，国語，算数・数学の教科の授業を通して，授業構想を進める際の手順と条件を明らかにするとともに，その考えに基づいた教育課程，年間指導計画等の検討もあわせて進めている。 ●特別支援教育を目指す学生の教育実習等での育成 令和４年８月の「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」では，教師に共通的に求められる資質の具体的内容として，「特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応」が加えられ，小中学校教員に対しても，特別支援教育に関する専門性が求められている。また，令和５年１月に「大分県公立学校教員養成指標」が改訂された。大学等での学びは，資質能力の基盤を形成する「養成期」にあたる。特別支援学校や特別支援学級等の教員を目指す学生の教育実習や教職大学院の実習を実施する附属特別支援学校として，今後，どのような取組みが求められるか，検討したいと考えている。 ●小・中学校における特別支援教育を踏まえた学級経営・学校経営の進め方 「発達障害者支援法」「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」等の施行，「障害者の権利に関する条約」の批准等に基づき，共に学ぶための仕組み作り，いわゆるインクルーシブ教育システムの構築が進められている。一方で，特別支援学級や特別支援学校の在籍者数は年々増加傾向にある中，小・中学校等での学級・学校運営にあたっては，「就学・転学支援」「校内支援体制の整備」「個に応じた教育課程の編成」「合理的配慮の提供」等，課題もある。各学校の現状・課題を整理し，学校現場での共に学ぶための取組みの進め方，取組み方法を研究していきたいと考えている。
研究業績・アピールポイント	・「特別支援学級及び通級指導教室経営の手引き」【実践編】 大分県教育センター特別支援教育部　2016年3月 ・「ユニバーサルデザインの良さを取り入れた学級・授業づくりハンドブック」 大分県教育センター特別支援教育部　2016年3月 ・特別支援教育体制推進事業啓発CD「幼稚園，小・中学校，高等学校における発達障がい児の支援体制の整備」Vol. 5　大分県教育委員会　2009年3月 Vol. 4　大分県教育委員会　2008年3月 Vol. 3　大分県教育委員会　2007年3月 Vol. 2　大分県教育委員会　2006年3月 ・「軽度発達障害のソーシャルスキルを育成するための支援方法に関する研究」大分県教育センター特別支援教育部『平成16年度大分県教育センター研究紀要第36集』　2005年2月